WAKATSUBAKI

わかつばき

2008
10

打てば響け！

『共感と実践』の輪をこのまちに

JCI

社団法人
松山青年会議所

青年会議所とは

青年会議所（JC）は、“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。

青年は人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志により、その居住する各都市の青年会議所に入会できます。

50年の歴史をもつ日本の青年会議所運動は、めざましい発展を続けておりますが、現在700余の地域に4万余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。

全世界に及ぶこの青年運動の中枢は、国際青年会議所ですが、114カ所の国及び地域に101NOM（国家青年会議所）があり、約22万人が国際的な連携をもって活動しています。

日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的指導能力の開発を押し進めています。

さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創りだすため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。

Contents 目次

◆理事長便り ―― 1
◆９月例会報告 ―― 2
◆市民シンポジウム ―― 4
◆全国会員大会報告 ―― 10
◆公開討論会報告 ―― 13
◆M＆S構築セミナー ―― 15
◆11月例会ＰＲ ―― 16
◆じゃがいもクラブ ―― 17
◆スケジュール・会員消息 ―― 18

ご購読のお申し込みは（社）松山青年会議所まで
TEL（089）941-0194　無料

元気が１番！
地域に愛され、社会に貢献
アマノ印刷
〒790-0932 松山市東石井一丁目10-30
TEL089-956-2442 FAX089-956-2180
E-mail:amanop@poppy.ocn.ne.jp

協賛企業

（株）香川ネオン	平岡昌次郎	先輩
（株）寺田商店	寺田　太郎	先輩
富士タクシー	加藤　忠彦	先輩
ホテルアビス松山	村上　博英	先輩
愛麺（株）	平田　裕二	君
アマノ印刷（有）	天野　眞作	君
上田消防建設（株）	正岡　尚起	君
愛媛合同物流（株）	近藤　弘志	君
愛媛パッケージ（株）	井川　直樹	君
（有）キーホール	宮谷　圭一	君
嵯峨野屋	北村　　斉	君
桜うづまき酒造（株）	篠原　成昌	君
昇栄建設（株）	郷田　明史	君
（有）てらだ	寺田　　明	君
（有）東昇技建工業	小泉　啓典	君
道後山の手ホテル	帽子　大輔	君
（株）ハート交通	寺川　洋史	君
媛彦温泉	大野　剛嗣	君
ホテル奥道後	坪内　洋輔	君
（株）松山建装社	盛重　泰輔	君
マルマストリグ（株）	河野　行信	君

〔50音順〕

理事長便り

(社)松山青年会議所
第56代理事長
郷田　明史

収穫の秋、芸術の秋、食欲の秋・・・

夏のうだるような暑さから解放され、周囲を見渡してみればすっかり秋模様。人それぞれ様々に「秋」を満喫したり謳歌したり堪能したり・・・

何か新しいことを始めるには絶好の季節ではないでしょうか。

かく言う私たち青年会議所も、毎年この時期から『次年度準備』が本格的に始まってまいります。

56年間のまちに対する思いと歴史を引き継いで、リレーバトンのごとく受け渡していく。

2009年度理事長小泉啓典君が率いる新年度としての青年会議所活動が、そのバトンを受け取るべく、しっかりとしたペースで助走を始めたことを、まずもってご報告申し上げます。

先だって行われました第25回まつやま市民シンポジウムにおいては、多くの皆様にご来場を頂き、本当にありがとうございました。今回は『共育』をテーマとさせて頂きましたが、多くの皆様にご協力を頂いたからこそ、このシンポジウムを成功させることができました。あらためてご協力いただきました皆様方をはじめ、ご参加を頂きました皆様にも心からの御礼を申し上げます。

私たち青年会議所が行おうとしているまちづくりの方向性が、このシンポジウムを通じて少しでも共感して頂ければ幸甚です。

私たちのまちづくりへ対する思いを、まつやま市民シンポジウムをはじめ様々な事業を手段として発信してまいりましたが、中でも『俳句甲子園―全国高等学校俳句選手権大会―』の事業においては先だって浜松の地で行われた社団法人日本青年会議所第57回全国会員大会アワードセレモニーにおいて、地域開発部門優秀賞を受賞することができました。

本来私たちが行う事業は、自分たちが楽しむためだけの行事ではなく、市民の皆さんに共感をしていただき、ともに実践していただいて初めて価値を生み出すと考えます。

まちに暮らす皆さんが自らが率先し、主体的に動き出すことでまちは変わります。そのための仕組みや仕掛けを事業として展開していることが、受賞の大きな要因であったと信じています。

私たち松山青年会議所は、56年の歴史を引き継ぎ、時代や環境が変わっても、このまちを愛する気持ちは昔から変わらず、脈々と受け継がれています。

今後も、市民の皆さんと手に手を取ってこのまちの未来を担う子ども達のためにも、こういった運動を通じてまちづくり活動に邁進してまいります。

総務委員会　発表者　岡本公一君
タイトル『総務委員会事業報告』
ＪＣ手帳・名刺作成・定時総会の運営など快適なＪＣ活動のサポートをプレゼン

広報委員会　発表者　三宅孝房君
タイトル『広報委員会大発信!!』
わかつばきやMJCなどPOWER POINTを使い事業内容を大発信!!

次世代共育委員会　発表者　大堀豪君
タイトル『次世代共育委員会事業報告』
委員会メンバー全員の写真や事業内容の完成度の高い動画を作成しプレゼン

文化発信委員会　発表者　山本修平君
タイトル『文化発信委員会事業報告』
木本委員長の顔写真や発表者のユーモアのある説明で会場を惹き付けた。POWER POINTを使い事業内容をプレゼン

2008年度 9月例会 『響け!!

社団法人松山青年会議所では市民に対し意識変革運動を推進する目的で青年会議所活動を行ってきましたが、全てのメンバーがすべての事業に参加できているわけではなく、メンバー間での情報格差があるという現状があります。

そこで９月例会行事では委員会ごとに事業や活動をメンバーに報告し松山青年会議所活動の情報を全員が共有し情報格差を無くす目的で開催いたしました。タイトルは『響け!!委員会大発信』です。社団法人松山青年会議所の９月例会として、当該年度の運動の方向性を確認することにより、「打てば響け！『共感と実践』の輪をこのまちに」をスローガンに気品と気概あふれる市民がつくる、自信と誇りに満ちた地域の復活、そしてその先にある「気高き日本」の創造の実現に繋げます。具体的な運営方法としては、各委員会持ち時間６分間とし限られた時間の中で委員会事業報告を行いました。説明には各委員会が事前に準備し作成した写真や動画等をプロジェクターで上映し４月例会で当委員会が提案したファシリテーション能力向上の場を提供する形で今ある事業・運動を効果的に発信して頂

全国大会誘致推進委員会　発表者　松本瑞穂さん・花山浩司君
タイトル　『全国大会誘致推進委員会事業報告』
全国大会とは?等についてをPOWER POINTを使い事業内容をプレゼン

松山創造委員会　発表者　門屋光彦君・河村隆広君
タイトル　『愛媛ブロック会員大会報告』
愛媛ブロック会員大会のオープニングの動画等を使い事業内容をプレゼン

会員開発委員会　発表者　所谷直人君
タイトル『会員開発委員会事業報告』
新入会員カリキュラム等事業報告に加えハグでボディランゲージ実習を実施し会場全員参加型の動きのあるプレゼン

まちづくり委員会　発表者　西平孝志君
タイトル『第25回まつやま市民シンポジウムPR』
わかつばきやMJCなどPOWER　POINTを使い事業内容を大発信!!

委員会大発信』（広報委員会）

平成20年9月16日（火）18:30～
松山市総合コミュニティセンター

きました。そして敢えて入会年度の浅いメンバーに発表して頂くことでどの委員会も我々の想像以上に立派な資料を準備してプレゼンテーションを行いました。ただ我々広報委員会はスムーズな全体の進行をする立場にありながら４月に担当した例会行事を成功させた事など気の緩みに繋がり、それによる準備の甘さから映像や音声が出なくなるトラブルを度々起こしてしまいメンバーをその都度待たせてしまうという事態となってしまいました。

　委員会メンバーと担当スタッフの全員が焦りを感じて重い空気になり辛い例会となりました。副委員長として私の責任を大変重く受け止め深く反省いたしましたが、一方ではその失敗から学ぶものは大変多く青年会議所活動をしていなければ絶対にできない経験をさせて頂きました。幸い私にはあと５年間の青年会議所活動を行うチャンスがあります。この経験を今後の活動に生かしＪＣ運動をしっかりと続けて参ります。最後になりましたが最高のプレゼン資料で協力していただきました各委員会メンバーの皆様、会終了後に委員会の懇親会に駆けつけて励まして頂いた郷田理事長とスタッフの皆様、準備から会終了まで長時間協力してくれた広報委員会のメンバーそしてこの場を与えてくれたＪＣに感謝いたします。ありがとうございました。

全力少年共感委員会　発表者　田中利幸君
タイトル『全力少年共感委員会事業報告』
委員会スローガンや事業報告などPOWER POINTを使い事業内容をプレゼン

観光開発委員会　発表者　河井直幸君
タイトル『観光開発委員会事業報告』
春まつりの写真やアンケートを使った検証などPOWER POINTを使い事業内容をプレゼン

出席優秀委員会　松山創造委員会

司会の広報委員会　寺田委員長

第25回 まつやま市民シンポジウム

テーマ 「共に育もう！ 未来(あした)のまつやま」

まつやま市民シンポジウム報告 (統括・コーディネーターとして)

2008年度まちづくり委員会 委員長　雲瀬　理

第25回まつやま市民シンポジウムは理事長の想いにより、各委員会に分科会の企画・運営を担当していただき、当委員会がコーディネーターとして統括させていただくという形態で企画させていただきました。

準備段階の目論見では、前回の反省点も踏まえ開催３ヶ月前には事業内容を確定し、残りの期間すべてを広報活動に専念しよう！という計画でしたが…結果的には開催１ヶ月前にいたっても事業内容の協議をしているという状態でした。これはひとえにコーディネーターとしての力量不足であると反省いたしております。

しかしながら、出来上がった分科会の内容に関しては、各委員会さんが充分に議論され、意味のある内容に仕上がったと満足しております。

今回、コーディネーターという立場で第25回まつやま市民シンポジウムを担当させていただき、大変多くの学習をさせ

ていただきました。実行委員会の場において議長という立場で理事会メンバーの前で発言させていただき、当初は緊張のあまり、自分でも何を言っているのか、どういった方向性で議事を進行していけばよいのか？したいのか？自分を見失い、ひとりで漂流しておりました。完全に遭難しそうな私を船長、いや、実行委員長である郷田理事長に何度も助けていただき、何とか９月27日当日を迎えることがでました。

動員に関して残念な点もありましたが、事故もなく、分科会の運営もスムースに行うことができました。皆様のご協力、深く感謝いたしております。ありがとうございました。

メインシンポジウム報告

次世代共育委員会　委員長　和泉北斗

秋晴れの中、コミュニティセンター・キャメリアホールにてメインシンポジウム「共に育む」をテーマに今村克彦先生による基調講演を行いました。

今村先生について、少しご紹介したいと思います。1957年６月23日生まれ、51歳。約20数年間、現役の教師をされておられました。教員当時、子ども達に本当の顔で生きられるようにしてやりたい、輝いた顔で生きられるようにしてやりたいと結成されたのが「今村組」というダンスチームです。テレビでもドキュメント番組で数多く取り上げられておりますが、今では学校や家庭に課題や悩みを持つ子供達や道を踏み外したいわゆる「不良」といわれる子が、まるで「駆け込み寺」のような存在として、現在も活動されております。我々と今村先生との関係は「今村組」を通して数年前に松山春まつりに参加頂いたときから始まっております。

さて、メインシンポのテーマ「共に育む」は今村先生の理念でもあります。やはりまずは大人。大人が自らを戒め、人として成長しなければならない、そうした姿が子どももしっかりと受け止め、間違った道には歩まない、そうした思いがあります。そしてもう一つは、子育てを母親にのみ押し付けるのではなく、地域社会全体で支えなければならないという思いもあります。昨今、核家族化が進み、子育てを母親一人で行っている場合が多く、たいへん子育てしにくい社会となっています。まずは父親から、そして社会全体が子育てに関わる仕組みが必要と思われます。

講演には、思ったほどの市民の方がいらっしゃらず、たいへん申し訳ない気持ちでしたが、今村先生は腐ることなく、やさしく、時には関西人らしいノリで、市民の皆様の気持ちをしっかりと捉え、教育に対する思いを語って頂きました。その実直な姿勢にただただ感謝すると共に、講演でお話頂いた子どもとの接し方は、我々企業人として従業員との接し方、指導の仕方、そして人としてあるべき姿を学ばさせて頂きました。

今後の今村先生及び今村組の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

市民シンポジウム分科会

10年後の我が故郷（まち）まつやま

松山創造委員会　寺川　洋史

今回のシンポは松山創造委員会と全国大会推進委員会との合同による分科会をさせていただきました。二つの委員会ということで、両委員会から実行委員長と副委員長を決めて運営していきました。

全国大会推進委員会より丸山君を推薦し、実行委員長へ。当委員会からは井上君を推薦し、実行副委員長という組織体ができ、両委員会メンバーが全力で力を出し合い成功させようという意気込みでスタートいたしました。まず実行委員会から「ＪＣＰＲ」ということで内容を決めるにあたり委員会で熱い討論を重ねた結果、従来のパネル展示と10年後のまつやまを市民の皆さんと考えるということでパネルディスカッションを開催しようということで案が固まり、当日まで台本から動員まで何度も委員会内で話し合い万全の体制で当日を迎えました。

当日は写真展示担当の花山リーダーのもと松山ＪＣの歴史がわかる展示ブースが作られ、キャメリアの内部もライブで見えるよう席を設け、万全の体制で市民の皆様の受け入れ体制がととのい、また、パネルディスカッションの方では、行政

の代表として市議会議長の菊池先生とまちづくり松山の代表の日野先輩、そして郷田理事長をパネリストとして三つのお題目で構成された内容でお話をしていただきました。観光・経済・教育といった問題を各皆様の立場からいい話が聞けたのではないかと思います。また、コーディネーターの助手として現役の大学生二名も参加していただき、今自分たちの目線で松山に対して思っていることを質問し、またその答えもパネリストの皆様からお答え頂き、私たちが考えたパネルディスカッションよりも内容の濃いものになったと思います。動員に関して若干力不足のところもありましたが、非常に充実した分科会ができたのではないかなと思います。

最後に丸山実行委員長はじめ委員会メンバーの全員が本気になって分科会をやりあげたこと、お疲れ様でした。

市民シンポジウム分科会

親子紙ヒコーキ大会
～坂の上の雲に向って～

全力少年共感委員会 副委員長　佐々木啓行

我々全力少年共感委員会は、第25回まつやま市民シンポジウムの理念の一つである「親と子の絆」のパートを担当する委員会として、分科会　親子紙ヒコーキ大会～坂の上の雲に向って～を企画・運営しました。当日は親子45組の参加があり、飛行距離の部、滞空時間の部で競技をして頂きました。

たかが紙ヒコーキと思ってしまうところですが、意外にもその奥は深く、より遠くへ、より長く飛ぶ紙ヒコーキを作成することはそう簡単ではありません。日本折り紙ヒコーキ協会今井会長のレクチャーを受けながら、どの親子も真剣にそして楽しみながら１時間をかけて自慢の紙ヒコーキを作成していました。競技の

中では見事に旋回しながら長時間飛び続けるヒコーキもあれば、残念ながら急降下してしまうヒコーキもありましたが、結果がどうあれ一生懸命に紙ヒコーキを飛ばす子供達と、それを応援している親達の姿は非常に微笑ましい光景でした。

当日、親子ごとに撮影した記念写真は、後日それぞれのご家庭へフォトフレームに入れて郵送いたします。この写真を見るたびに、親子二人で協力して紙ヒコーキを作り、思い切り飛ばしたこの時間が、思い出の１ページとして色褪せることなく鮮明によみがえり続けることで、この分科会を開催した目的が達成されるものと当委員会では考えております。

最後になりますが、当分科会を企画・運営するにあたり多大なるご協力を賜りました皆様方、そして委員会メンバー各位に厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

市民シンポジウム分科会

THEご当地グルメセッション報告

文化発信委員会　山本　修平

まずは、先般の「第25回まつやま市民シンポジウム　分科会　ＴＨＥご当地グルメセッション」が盛大に開催され、我々が目論んだ結果が出た事に対しまして松山青年会議所のメンバー各位及び、他団体のご協力者の皆様に深く御礼を申し上げる次第です。

さて、松山を代表するご当地グルメを掘り起こそうと我が､「文化発信委員会」発足時に準備委員会にて皆が盛り上がった時の事を、つい昨日のように思い起こします・・・

色々と勉強会を重ねていく中、我がふるさと松山には私達が誇れる、いや、松山の市民に共通するご当地グルメは、やはり定着していない事を再認識しました。それであれば、我々松山青年会議所文化発信委員会がご当地グルメを考案しようと、皆の色々な意見で色々な創造料理を提案しましたが、やはりご当地グルメが一朝一夕にして出来る筈もなく対外の団体・先生方・飲食関係者を募り松山のふるさと食文化について討論会を４月に開催し、５月にはその中間報告として「松山の食文化を掘りおこそう」と銘打って担当例会を盛大に開催致しました。その集大成として先般のまつやま市民シンポジウム｢ＴＨＥご当地グルメセッション」を開催した次第です。

セッションは、対外のパネリスト４名（野瀬様・俵様・土井中様・織田様）を召喚致し、論点を大きく二つに分けて進行をして参りました。

第一部では、パネリストの方々の経験談を主体とし、如何にして他の地域ではご当地グルメをメジャーな物にしているのか、手法や宣伝方法をお聞きする事にて、ふるさと松山のご当地グルメに準えていくかご意見を色々と出して頂きました。その内容は、我々とは違ったご意見、我々の経験の範疇を超えた体験論を主軸として、ふるさと松山のご当地グルメを作り上げていくヒントを沢山ご披露して頂きました。

第二部ではいよいよ我が松山青年会議所が試作した料理三点を、パネリスト・会場の皆様にご試食頂き、その感想及び試作料理の将来性を熱く語って頂きました。試食感想は、会場の一般の皆様よりも色々な視点を基としたご意見が寄せられ、期待以上に大いに盛り上がりを実感致しました。さすがは、百戦錬磨のパネリストの方々からは、少々辛口なご意見も頂戴し、次のステップに繋げる素晴らしいヒントを頂いた事は、当事業の成果であったと感じています。食を軸とする「ふるさと松山の活性化」が近づきつつある事も付け加えておきます。

市民シンポジウム分科会

親子ふれ愛ひろば

会員開発委員会　委員長　黒光　毅

松山市総合コミュニティーセンターの玄関前の広場で、分科会「親子ふれ愛ひろば」を開催いたしました。松山で活動されている、市民団体の方に、共育ということをテーマに、ご協力をいただきました。当日は、それぞれの団体の協力を得て、一つのコミュニティーとなっての分科会の運営ができました、本当にありがとうございました。報告は団体ごとにさせていただきます。

「木のおもちゃで遊ぼう」

大五木材さんに協力をいただきました。

木の玉プール・木のおもちゃで、親子一緒に木に触れて遊んでいただきました。木とふれあい、木に学び、木と生きる『木育』木育とは、子どもをはじめとするすべての人が木を身近に使っていくことを通じて人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことだそうです。当日は、たくさんの親子に参加をしていただき、木に触れて、楽しく遊び、学んでいただきました。木の玉プールで遊んだことが心の宝物の一つになり、森への思いにつながっていただけることを願っています。

「えひめＡＩを作成しよう」

えひめＡＩの開発者の曽我部義明先生をお迎えして、親子でえひめＡＩを実際に作っていただきました。

愛媛で生まれた「えひめＡＩ」県外では人気が高く利用者が多いということですが、松山では使っている人が少ないということで、今回の分科会では、親子で楽しく「えひめＡＩ」を作ることで、身近に感じていただき、子供でも簡単に安全に作れるということを、伝えることができたのではないかと思います。また、福祉作業所の方にも実際作っていただき、興味を持っていただくことができました、曽我部先生も、福祉作業所で販売していただければというお考えをお持ちとのことでしたので、今後、松山でも利用する人が増え、作業所のひとつの商品として販売していけることを願っております。当日は、会議室にて「えひめＡＩで地球をきれいに」という題で曽我部先生に講演をしていただきました、テレビ等で紹介された、「えひめＡＩ」を使っている地方自治体の活動等、なぜ、地球がきれいになるのかということを分かりやすく説明いただきました、ホームページ等にも載っておりますので、是非、効果・作り方を見ていただき、利用者が増えることを願っております。あわせて、「えひめＡＩ」の名前の由来でもあります、坪田愛華ちゃんの「地球の秘密」も検索していただければと思います。

「福祉ファクトリーの商品販売」

ＮＰＯ法人ユニバーサルクリエート・ハートフルプラザの両団体には、福祉作業所で作成している、物品の販売コーナー、紙すき・はたおりの作業を体験していただくコーナー等のご協力をいただきました。こちらにも多くの親子に参加をいただき、福祉作業所の作品・活動に触れていただくことができたのではないかと思います。ユニバーサルクリエートでは「えんむすびプロジェクト」という活動を行っております、「円・縁・援」の３つのえんを結ぶというものです。こちらも是非、検索していただき、ホームページで活動等見ていただければと思います。また、紙すきの体験コーナーをしていただきました、久谷育成園さんの作品等は、高島屋のハートフルプラザで販売しております、是非、見ていただければと思います。

「きょうだいシンポ報告」

ラ・ファミリエさんの協力をいただきました。

「ラ・ファミリエ」は難病をもつ子どもとその家族を支援するために『ファミリーハウスあい』を運営する特定非営利活動法人です。

今回は、８月に行われた、「きょうだいシンポジウム」の報告も行っていただきました。「きょうだい会」というのは、障がいのある兄弟姉妹がいる方の会で、この方たちがどんなことを考え、悩み生きてきたのか、「きょうだいだって愛されたい」という思いを我慢してきている方が多いという現状を知っていただきたいということでの報告を行っていただきました。

「ウォーくりーん　活動支援」

松山ベンチャークラブ・ウォーくりーん実行委員会の協力で、11月に行う、ウォーくりーんのＰＲとスポーツタオルの販売を行っていただいました。

今年は11月16日（日）13：00～受付　道後公園東グランドで開催されます、是非ご参加ください。

最後になりましたが、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

AWARDS JAPAN 2008

AWARDS JAPAN 2008とは社団法人日本青年会議所の褒賞事業であり、各地会員会議所が展開している事業に対し栄誉を讃えるとともに、その素晴らしい運動を全国に広めることにより、青年会議所運動の高揚と地域発展の一助になることを目的に1960年に創設されました。この褒賞事業を担当するのは社団法人日本青年会議所の褒賞委員会ですが、その委員長には我々社団法人松山青年会議所の井川直樹君を輩出しており褒賞委員会のメンバーにも松山から多数出向しています。

賞の種類には最優秀賞「グランプリ」・優秀賞「規定部門賞」・会頭特別賞があります。エントリーできる事業の対象期間は2007年８月１日～2008年７月31日に完了したものを前提とします。毎年、全国会員大会の開催期間中に賞の発表が行われます。優秀賞と会頭特別賞が2008年10月10日にアクトシティ浜松にて行われ最優秀賞は2008年10月12日に浜松アリーナにて行われました。2008年度の申請部門には下記の13部門があります。

●「気高き日本」創造部門(14)●地域開発部門(78)●教育・青少年関係推進部門(75)●会員開発部門(18)●国際開発部門(19)●環境開発部門(22)●ＷＥＢ・広報活動部門(15)●ビジネス開発部門(11)●福祉関係部門(８)●ローカルマニフェスト・行政関係部門(14)●会員拡大部門１～50人(５)●会員拡大部門51～100人(９)●会員拡大部門100人～(７)

※（　）内は2008年申請事業数

10月10日のアクトシティ浜松の会場はほぼ満員状態でどのメンバーも自分のＬＯＭの事業が受賞することを祈りつつ参加しているようでした。賞の発表の度に受賞したＬＯＭのメンバーからは歓喜の声が上がりました。受賞ＬＯＭメンバーは登壇して、それぞれの事業に対する熱い思いを会場のメンバーに伝えていました。

本年度は過去最多の274ものエントリーがありました。社団法人松山青年会議所も多数の事業をエントリーしていましたが他ＬＯＭのエントリーしてある事業のどれについてもＪＣ運動に相応しく素晴らしい内容のものが多く受賞することは容易ではありません。しかし喜ばしいことに地域開発部門におきまして我々社団法人松山青年会議所の事業である全国高校俳句選手権大会「第10回俳句甲子園」で優秀賞を頂くことができました。会場に参加していた松山のメンバーは大喜びでした。受賞の理由ですが審査員によれば「日本古来の文化であり、地元地域で親しまれている俳句を使った事業で評価できる。また高校生が心を大事にし、相手の多感性に学ぶことのできる事業として意義がある。」というご意見でした。

（平田）

地域開発部門　優秀賞

社団法人松山青年会議所

全国高校俳句選手権大会「第10回俳句甲子園」

社団法人 日本青年会議所
第57回全国会員大会 浜松大会 2008年 10月9日(木)～12日(日)

大会テーマ
ローカルコミュニティ復活！
～JAYCEEの活力が「気高き日本」へと導く～

大会スローガン
やらまいか！日本！
～気高きこの国の未来のために～

全国会員大会は社団法人日本青年会議所主催による三大会の一つです。残りの二つは１月の京都会議と７月のサマーコンファレンス（通称サマコン）で全国会員大会は毎年10月に開催される大会です。全国大会とは全国のメンバーが一同に会し、それぞれ行なってきた運動を確認し、さらに意識の高揚を図る場です。松山のＬＯＭからも50名以上のメンバーが参加しました。

大懇親会にて（卒業生と郷田理事長）

本年度の開催地は静岡県浜松市です。浜松市はものづくりのまち・音楽のまちとして有名で楽器メーカーのカワイや自動車メーカーのホンダ・スズキなど日本ブランドを支える技術を持つ企業が多数あります。平成17年に12市町村が合併し

渡辺美里スペシャルライブ

人口825,318人となり、面積は1511.17㎢と広さは全国第２位の都市で、平成19年には政令指定都市へ移行しました。大会スローガンのやらまいか！とは浜松に古より宿る言葉で自らの正義を信じ、勇気を持って何事にも果敢に行動する精神を表わすそうです。本田宗一郎氏の「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ」の格言とともに市民の心に息づいている様です。大会期間中は日本ＪＣの委員会・総会・アワードセレモニー・セミナー・フォーラム・歌手の渡辺美里さん出演の大懇親会など多数の行事があります。

ＬＯＭナイト

常陸宮同妃両殿下ご臨席

最終日の大会式典では歴代会頭で内閣総理大臣の麻生先輩の挨拶がありました。

内閣総理大臣　麻生歴代会頭による挨拶

そしてアワードの最優秀賞発表があり我々松山ＪＣより輩出している井川直樹君が社団法人日本青年会議所褒賞委員会

褒賞委員会井川委員長による
アワード最優秀賞セレモニー

発表前のノミネートにより登壇する郷田理事長

委員長として登壇し堂々とした進行をしていました。俳句甲子園の事業がノミネートされていたため郷田理事長も同時に登壇しました。その後小田会頭によるメインスピーチが行われましたが、一年の達成感からか感極まった会頭が途中男泣きする場面もあり参加者ももらい泣きしそうな感動的なスピーチでした。次年度安里会頭予定者スピーチでは安里会頭予定者の出身地である沖縄の歴史的背景等からの体験やＪＣへの熱い思いを飾らない言葉で伝えメンバーの心に響く内容のスピーチでした。他にも全国会員大会の開催地については毎年、式典にて当年度から次年度の開催地へ大会の鍵を伝達する式があります。次年度の開催地である沖縄・那覇ＪＣへの伝達式がありました。

SONG FOR GRADUATES（久保田利伸さん）

式典終了後の卒業式では歌手の久保田利伸さんが登場し歌のプレゼントをして頂きました。終わりに卒業生全員が登壇し我々にメッセージを残して頂きました。私には５回目の全国会員大会となりましたが、ＪＣ運動への理解が深まり意識の高揚も図れるため多少無理してでも大会に参加する価値があります。まだ大会に参加していないメンバーの方！ぜひ来年は一緒に沖縄・那覇大会へ行きましょう。

（平田）

小田会頭と安里次年度会頭予定者

式典・卒業式終了後に

公開討論会報告

近年の日本では、政治に対しての不信感や無関心に起因する投票率の低迷が起こっています。これは議会制民主主義を採用している日本にとって根幹を揺るがしかねない事態とも言えます。特に今年は総理の辞任を機運として、2009年の任期満了を待たずに今年度内に衆議院議員選挙が開催される様子です。

そこで、(社)日本青年会議所で推進している協働運動の中の１つである公開討論会を松山にて開催する事で、もう一度、市民の方々に選挙に興味や関心を持って頂き、日本全国の青年会議所が活動の根幹としている市民意識の変革へとつなげる必要があります。そこで社団法人松山青年会議所としては愛媛１区から立候補される各候補者を一同に招き、立候補予定者らが直接説明することで、これからの国政をお任せする代表者がどういう意図でこれがしたいなどをハッキリさせ、投票時の参考になるような内容を広く市民の方に伝えるために公開討論会を開催いたしました。

また、この公開討論会を行う事で、より松山市民の投票行動を促進することにより、近年見られる投票率の低下から、投票率の向上へと好転させる事を目指します。衆議院の解散が予想される情勢から、企画立案から開催日までの有効実数日が非常に短くなったため、準備段階での十分な協議を経ぬまま開催日に至りました、予想された公示日から逆算して決められた開催日が、全国会員大会直後という日程になり、運営人員の確保に困難が予想されたが、当日は多くのメンバーの参加協力が得られ、非常に円滑な事業運営を果たすことが出来ました。

当日は松山市民650名・報道関係者20社60名の計約700名を動員いたしました。公開討論会ではコーディネーターとしてらくさぶろう氏に、パネリストとして自由民主党公認候補　塩崎恭久氏・日本共産党公認候補　田中克彦氏・民主党公認候補　永江孝子氏（50音順）に協力して頂きました。

また、本公開討論会の準備段階から社団法人日本青年会議所四国地区愛媛ブロック協議会並びに公開支援討論会支援ＮＧＯリンカーンフォーラム様にも協力していただきました。ありがとうございました。（広報委員会）

M&S構築セミナー 全力少年共感委員会

私たち社団法人松山青年会議所の全力少年共感委員会が企画・運営いたしました「M&S構築セミナー」では、次代のリーダー育成・学生へのキャリア教育活性化・企業に属する前の学生に向けたスキルアップ・地域社会とのつながり・青年経済人としてのローカルコミュニティ復活等の推進を目的として行っております。

今回のセミナーの内容は、健全なマインドと思いを実現させるスキルをバランスよく兼ね備えた人材を育成することを目的とし、自分で考え決定し、その結果

を数字で検証して、次の意思決定につなげるというプロセス「仮設⇒実行⇒検証」を短時間で効果的に体感できるよう（企業活動に限らず、すべての意思決定は意識的・無意識的にプロセス「仮設⇒実行⇒検証」を経ていることに気づいてもらう為）、分析方法が確立されている、会社全体の流れが分かる戦略「マネジメントゲーム」を楽しみながらできるよう、ゲーム形式で体験して頂きました。

マネジメントゲームを体験した学生達より、「ゲーム形式だったので楽しかった。」「分かりやすくて勉強になった。」という意見を多数頂ました。

ゲーム形式とは言え、会社の組織運営を疑似体験していただく為、組織の意思決定や予算・決算の算出等、普段では体験できない貴重な内容だったと思います。その中で、こういった感想を頂いて、大変嬉しく思いました。

このセミナーの体験が、参加して頂いた学生達の将来に、少しでも役立てればと思います。又、少しでも多くの学生達にこの「M&S構築セミナー」に参加して頂ければと思いました。

私たち青年会議所のメンバーも、学生達との交流により、スキルアップに繋がるよう、これからも「M&S構築セミナー」に取り組んで行きたいと思います。

（好崎）

11月例会ＰＲ

「2010年まつやままちづくりビジョンの検証」

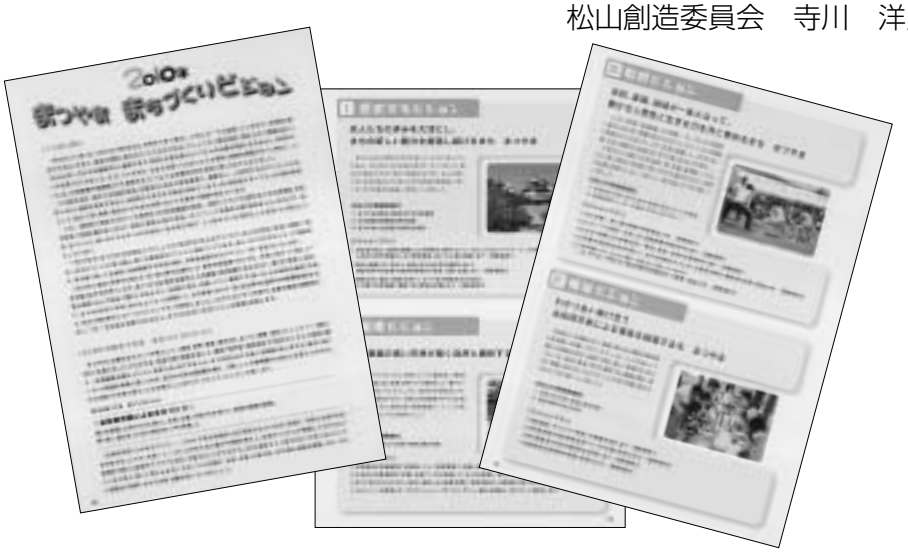
11月例会は「2010年まつやままちづくりビジョンの検証」という題目で例会を運営させていただきます。

「2010年まちづくりビジョンってなんなの？」なんていう方はほとんどいないとは思いますが、今さら聴けないまちづくりビジョンを１から10まできっちり理解できるまちづくりビジョンの話から当時の考え方・そして当時の想いなど、11月例会を出席すれば、松山ＪＣの一員として今まで何をやってきて、今後どのように自分達が進むべきなのか検証できる、いいきっかけになるのではないかと思います。

総会の後の例会ということで、時間的にも非常に短くなりますが、中身の濃い例会にしていこうと思います。どうか皆さん真剣に一緒になって考えましょう。

この時期だからこそ自分自身、青年会議所活動を検証してみましょう。

松山創造委員会　寺川　洋史

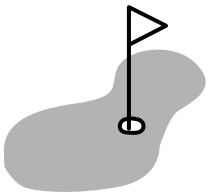


9月例会優勝！

宮内　謙彰

毎度参加する度､｢ダークホース｣と言われながら後半調子を崩しなかなか掴む事ができずにいましたが、今回、松山国際ゴルフ倶楽部という難コースを攻略し優勝を手にしました。ハンディもフルに活用しましたが、同伴プレーヤーにも恵まれ、一日楽しくプレー出来たとおもいます。これからもまだまだチャンスはあるとおもうので、優勝狙っていきたいです。

当日参加されたメンバーの皆さん、少々微妙な天気ではありましたが一日お疲れ様でした。まだ参加したこと無いメンバーの方、是非一緒にゴルフして良い汗流しましょう！



次回予定

【取り切り戦】11／19（水）道後ゴルフ倶楽部

松山JC じゃがいもクラブ9月例会

松山国際ゴルフ倶楽部

順位	氏　名	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット
優 勝	宮内　謙彰	44	50	94	28	66
準優勝	山本　弘之	51	53	104	30	74
3	松田　　寛	46	52	98	30	68
4	野中　信辰	39	42	81	6	75
5	河村　隆広	41	54	95	20	75
6	上岡喜美夫	38	41	79	2	77
7	土居　　聰	44	48	92	13	79
8	鵜久森充生	45	54	99	20	79
9	岡本　　治	56	50	106	27	79
10	武智　光成	40	51	91	12	79
11	白石　裕英	49	49	98	15	83
12	菅野　　崇	45	51	96	12	84
13	西平　孝志	48	50	98	13	85
14	藤堂　幸司	56	46	102	11	91

ドラコン　上岡　　武智
ニアピン　武智×２　　菅野　　河村
ベスグロ　上岡
次回ＨＤ　宮内（28⇒22）　山本（30⇒27）
　　松田（30⇒27）

10−12月 事業スケジュール

10月			11月			12月		
1	水		1	土		1	月	
2	木		2	日		2	火	スタッフ会議（18:30 商工会館）
3	金		3	月		3	水	
4	土		4	火	スタッフ会議（18:30 商工会館）	4	木	
5	日		5	水		5	金	
6	月		6	木		6	土	
7	火	スタッフ会議（18:30 商工会館）	7	金		7	日	
8	水		8	土		8	月	
9	木	全国会員大会（浜松）	9	日		9	火	三役会（17:30） 理事会（18:30）
10	金	全国会員大会	10	月		10	水	
11	土	全国会員大会	11	火	三役会（17:30 商工会館） 理事会（18:30 商工会館）	11	木	
12	日	全国会員大会	12	水		12	金	
13	月		13	木		13	土	
14	火	三役会（17:30 商工会館） 理事会（18:30 商工会館）	14	金		14	日	
15	水		15	土		15	月	
16	木		16	日		16	火	
17	金	シニア例会	17	月		17	水	
18	土		18	火	第2回定時総会／例会（18:00 コミセン）	18	木	卒業式／懇親会
19	日		19	水		19	金	
20	月		20	木		20	土	
21	火	例会（18:30 コミセン）	21	金	シニア総会／例会	21	日	
22	水		22	土		22	月	
23	木		23	日		23	火	
24	金		24	月		24	水	
25	土		25	火		25	木	
26	日		26	水		26	金	
27	月		27	木		27	土	
28	火		28	金		28	日	
29	水		29	土		29	月	
30	木		30	日		30	火	
31	金					31	水	

注）このスケジュールは予定ですので変更になる場合があります。詳細等については各自ご確認下さい。

社団法人
松山青年会議所
広報紙
わかつばき

発行日　2008年10月21日
発行所　社団法人松山青年会議所
編集長　好﨑　秀人
委員長　寺田　明　副委員長　平田　裕二
印刷所　アマノ印刷有限会社

委　員
篠原　成昌　池田　貞伸　菅野　崇
松本　幸三　高田　政信　向井　忠彰
森　真樹　松本　仁　三宅　孝房

地球環境に優しい自転車を
サポートいたします。

富士タクシー

キュウニ ヨー ヨイフジ
☎924-4124

看板 ネオン LED

各種看板・ネオン・LED 企画・設計・施工
株式会社 香川ネオン
松山電業社
KAGAWA NEON MATSUYAMA DENGYOSHA CO.,LTD.
〒791-8001 松山市 平田町104－1
TEL:089-979-4343 FAX:089-979-3354
施工例はホームページを御覧下さい。http://www.kagawa-neon.com

葬送儀礼会館
こう りん かく
光 輪 閣
北山会館 内宮会館
内浜別館 北山斎場
（火葬PM3:00以降も可）
〒791－8077 松山市内浜町19－27
株式会社 寺田商店
☎(089)952-0220㈹

全120室／シングル
5,229円
（4,980円＋消費税）
朝食は、和洋食
バイキングを
無料サービス。
県庁前
Abis ホテル アビス松山
TEL. 089-941-9003
FAX. 089-941-9005
http://www.hotel-abis.com

KENSO
想いをカタチに…
株式会社 松山建装社
☎(089)941-5221(代) 松山市三番町7丁目1-7
URL http://www.kensosya.co.jp E-mail info@kensosya.co.jp

SHOEI CONSTRUCTION INC.
昇栄建設株式会社

防災のエキスパート
安心・安全をささえます
■総合防災設備設計施工 ■保守点検業務
上田消防建設株式会社
松山店
松山店／松山市安城寺町204番地3
☎(089)924-3822㈹・FAX(089)924-3865

TOSHO
NPO住宅地盤品質協会加盟
有限会社 東昇技建工業
住宅地盤事業部
〒791-1112 松山市南高井町1939-5
TEL089-970-6814
http://www18.ocn.ne.jp/~tousyou/

京染呉服 きもの処
嵯峨野屋
〒790-0054 松山市空港通り1丁目6-28
TEL089-968-6555
0120-14-8835
http://home.netcruise.jp/~hitosi/

地下1,000mより湧きだす天然温泉を
たっぷり湛えたお風呂いろいろ。
お好きな湯舟にゆったりと体を浸して、
心ほどける入浴タイムをどうぞ。
媛彦温泉
〒790-0913 愛媛県松山市畑寺3丁目4番5号
TEL 089-960-1441
URL http://www.himehiko.co.jp

e-package
やさしさを包む。
資源循環型社会へ…
愛媛パッケージ株式会社
〒790-0045 愛媛県松山市余戸中6丁目6番5号
TEL. 089-973-2021 FAX.089-971-6211
URL http://www.e-package.co.jp

BAR LE CLUB ル・クラブ
〒790-0002・松山市二番町1丁目9-20・キーホールビルB1F
TEL.089-931-1995

BAR 夢の白 RIHAKU
〒790-0002・松山市二番町1丁目9-20・キーホールビル2F
TEL.089-933-1808

KEYHOLE Co.,Ltd.

GODO
GODO STAFF SARVICE
愛媛の人材派遣はお任せ下さい。
合同スタッフサービスはクオリティの高い人材をご提供いたします。
〔関連会社〕愛媛合同物流 株式会社
一般労働者派遣事業 許可番号(般)38-300052 有料職業紹介事業 許可番号38-ユ-300028
合同スタッフサービス株式会社
Tel.089-979-7711 Fax.089-979-7722
松山市勝岡町243番地 ▶▶▶ http://www.godo-staff.jp

リフォームのことなら『建物ドクター』におまかせください

マルマストリク.（株）
松山本社 松山市問屋町３番６号 TEL 089-922-2123（専用）
今治本社 宇和島・大洲・西条・四国中央・多度津／営業所

真心の運転
株式会社 ハート交通
貸し切りバスのご用命は…
☎(089) 911-8810
〒791-8001 愛媛県松山市平田町311-1
『白い旅人』のお供承ります。
全国どこへでも、プランに合わせてご相談に応じます。グループでの旅行や巡礼・冠婚葬祭や各種イベントにご満足いただけます。

文豪たちの愛したゴルフ場
ホテル奥道後からお車で約30分
奥道後ゴルフクラブ
プレー料がお得になる
『メモリアル友の会』会員募集中！
〒799-2424 愛媛県松山市八反地乙102
TEL 089-993-3311 FAX 089-993-0576
http://www.okudogo.co.jp/golf

古き良き英国の伝統が薫る
オールドイングランド
道後 山の手ホテル
Old England Dogo Yamanote Hotel
〒790-0836 愛媛県松山市道後鷺谷町1-13
TEL(089)998-2111 FAX(089)998-2112

◇もしもの時は、まずお電話ください。
◇面倒なことは、すべて当社におまかせください。
◇ご遺族のみなさまになりかわってご奉仕いたします。
ご葬儀のご相談は…
TEL 089-993-0413
（有）てらだへ
てらだ葬儀社

愛ちゃん
麺類の総合メーカー
愛麺株式会社
松山市高岡町81-1（空港通り）
TEL089-972-8100
FAX089-972-8200

～地域の文化を大切にする～
清酒 桜うづまき
桜うづまき酒造株式会社
松山市八反地甲71 ☎089-992-1011